

科目名	行政と医療政策 Public Administration & Medical Policy		担当教員 (研究室番号)	森下 直紀 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次後期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	選択	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
											オープンクラス	可
科目目的	日本の医療制度の枠組みをその歴史的発展も含め理解するとともに、行政の役割について理解を深める。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度)										
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。(技能・表現)										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の医療制度のしくみと歴史を理解する。</li> <li>医療提供体制について具体的に説明できる。</li> <li>三重県の医療サービスの現状と課題について自らの意見を述べるができる。</li> </ul>											
成績評価方法(基準)	平常点(30%)、最終レポート(70%)による。											
再試験の有無と基準等	再試験あり。追加レポートの提出による。											
教科書	指定しない。											
参考書等	宗前清貞『日本医療の近代史：制度形成の歴史分析』ミネルヴァ書房 島崎謙治『日本の医療 増補改訂版：制度と政策』東京大学出版会 山崎亮『ケアするまちのデザイン：対話で探る長寿時代のみちづくり』医学書院											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	毎回の授業の最後に作成してもらうコメントペーパーの内容を元に、履修者の興味関心に沿った内容を次回以降の授業内容に可能な限り反映していきます。ぜひ主体的に授業に関わってください。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当教員	授業方法			
1回	オリエンテーション		授業の目的や進め方について説明する。					森下	講義			
2回	日本の医療制度		日本では医療サービスがどのように提供されているのかを学び、日本の医療制度の特徴を考えます。					森下	講義			
3回	医療提供体制の歴史		近代化以降の日本の医療提供体制の歴史を概観します。					森下	講義			
4回	医療提供体制の国際比較①		ドイツの医療制度改革について検討します。					森下	講義			
5回	医療提供体制の国際比較②		アメリカの医療制度改革について検討します。					森下	講義			
6回	医療提供体制の国際比較③		スウェーデンの医療制度改革について検討します。					森下	講義			
7回	医療保険制度の歴史		日本の診療報酬制度や国民皆保険制度の歴史について検討します。					森下	講義			
8回	地方自治と保健行政		戦後発展した地方自治体レベルでの保健衛生行政について検討します。					森下	講義			
9回	感染症対策における公衆衛生行政		日本の伝染病対策の歴史と患者・感染者の人権保護についてのジレンマについて検討します。					森下	講義			
10回	公害病事件史における公衆衛生行政		水俣病事件の前史では、公衆衛生行政の対応として当時まだ未解明であった水俣奇病の対応がなされた。その動きを検討します。					森下	講義			
11回	公害病事件史における医療		水俣病事件史における医療の果たした役割について検討します。					森下	講義			
12回	地域包括ケアシステム		地域包括ケアの課題：イギリスとの比較において					森下	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
13回	地域包括ケアシステムの国内先進事例	地域包括ケア幸手モデルについて検討します。	森下	講義
14回	三重県の医療計画	地域行政の目標や課題などについて検討します。	森下	講義
15回	まとめとふり返し	講義を通じて履修者が感じた気づきやより発展的に学習したい内容などを再確認します。	森下	講義

## 学 習 課 題

- ・各回の授業後に振り返りのコメントペーパーを作成し提出すること。

## 実務経験を活かした教育の取組